

Course number	U-LAS70 10001 SJ50				
Course title (and course title in English)	ILASセミナー：東洋史入門 ILAS Seminar: Primary Asian History	Instructor's name, job title, and department of affiliation	Graduate School of Human and Environmental Studies Professor, OTA IZURU		
Group	Seminars in Liberal Arts and Sciences	Number of credits	2	Number of weekly time blocks	1
Class style	seminar (Face-to-face course)	Year/semesters	2024・First semester	Quota (Freshman)	25 (15)
Target year	Mainly 1st year students	Eligible students	For all majors	Days and periods	Tue.3
Classroom	Seminar room 24, ILAS Bldg.			Language of instruction	Japanese
Keyword	アジア / 中国 / 日本 / 戦争 / 歴史				

(Students of Faculty of Integrated Human Studies cannot take this course as liberal arts and general education course. Please register the course with your department.)

[Overview and purpose of the course]

日中関係史に関する基礎的な知識を身につけ分析する力を養う。また自分の言葉で発表・表現ができるよう練習することを目的とする。具体的には、受講生全員に太田出『北支宣撫官』（えにし書房、2023年）、ビル・ヘイトン『中国という捏造』（草思社、2023年）、2冊を購入し輪読してもらい、レジュメを作成、30～40分ほどで簡単な内容と読後感を発表してもらい、さらに30～50分ほど質疑応答を行う。質疑応答にはしっかり応えられるよう発表者には下調べ・準備が求められる。

[Course objectives]

テキストを正確に読み込んで整理したうえでレジュメを作成し、自分の言葉で発表・報告する技術をみがく。

[Course schedule and contents]

基本的には毎回1、2名程度の受講生に発表してもらう（受講生の人数によって異なる）。太田出『北支宣撫官』（えにし書房、2023年）、ビル・ヘイトン『中国という捏造』（草思社、2023年）は政治・外交・歴史・戦争など幅広い分野を対象としているから、発表担当者はもちろん、受講生全員にしっかり読んで報告してもらう。他の受講生も読んできて参加することはもちろん、質疑応答の際、積極的な発言・議論・問題提起が期待される。受講生の積極的な取り組みが求められる。

第1回 ガイダンス

第2回～第13回 『北支宣撫官』『中国という捏造』の輪読・討論

第14回 まとめ

第15回 フィードバック

[Course requirements]

None

Continue to ILASセミナー：東洋史入門(2)

ILASセミナー : 東洋史入門(2)

[Evaluation methods and policy]

平常点(50%)およびレポート(50%)で評価する。詳細は初回授業にて説明するので、必ず参加すること。

[Textbooks]

太田出 『北支宣撫官』(えにし書房) ISBN:978-4-86722-122-8(受講生は必ず購入すること。)
ビルヘイトン 『中国という捏造』(草思社) ISBN:978-4-7942-2610-5(受講生は必ず購入すること。)

[References, etc.]

(References, etc.)
Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

発表担当者はテキストを熟読したうえでレジユメの作成・配布が求められる。もちろん受講生全員、読了したうえで参加する。担当者以外も興味のある内容ならば、関連書籍を予習してくるとより良い。

[Other information (office hours, etc.)]

この授業では日中関係研究の基礎を身につけることから始めるから、中国関連の研究に挑戦してみたいと考えている学生諸君はもちろん、アジアをめぐる過去・現在・未来について一緒に考えてみたい学生諸君の履修を希望する。オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。